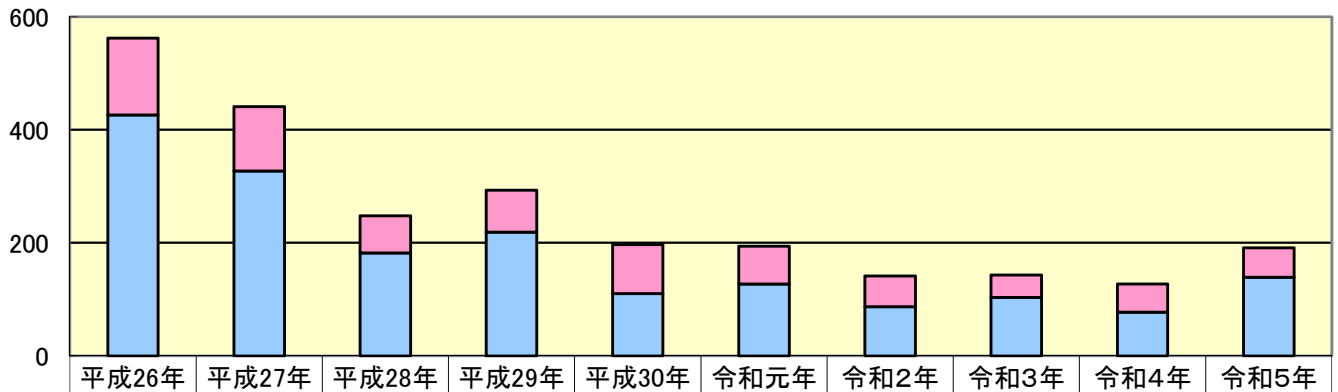


県内における少年非行の概要(令和5年中)

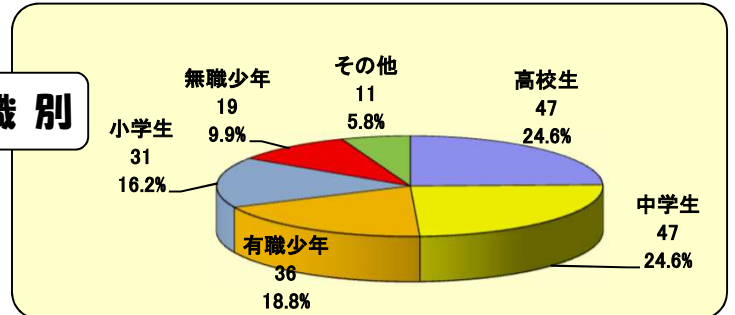
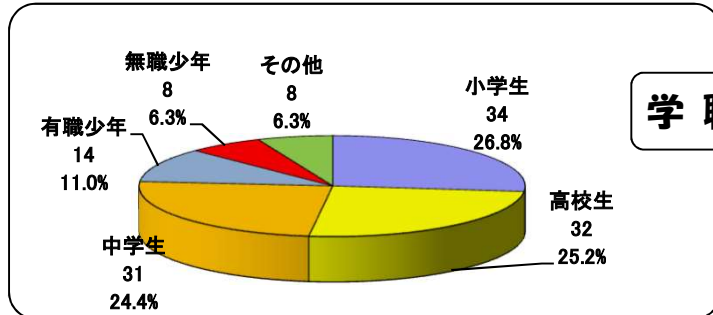
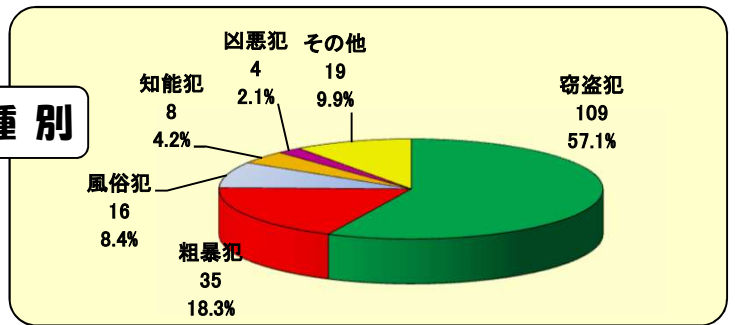
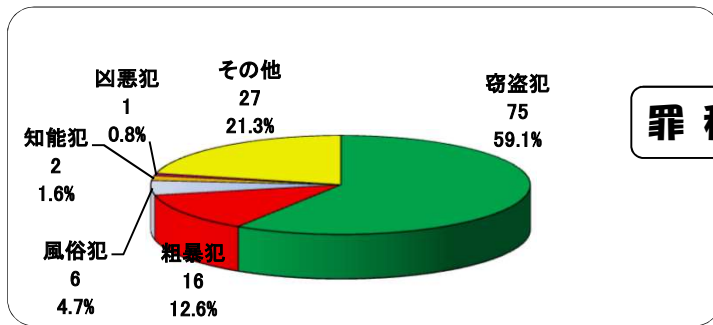
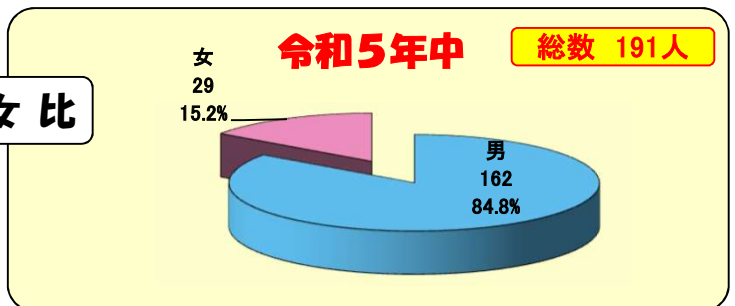
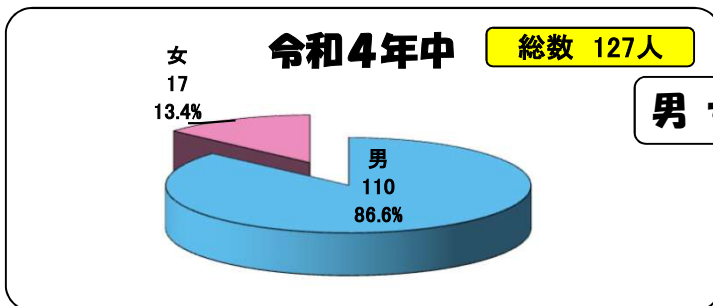
刑法犯少年検挙・補導人員の年別推移



触法少年	136	114	66	74	87	67	54	40	50	52
犯罪少年	426	327	182	219	110	127	87	103	77	139
合計	562	441	248	293	197	194	141	143	127	191

※ 刑法犯少年検挙・補導数は犯罪少年（14歳以上20歳未満）と触法少年（14歳未満）の合計です

刑法犯少年の推移



特徴

- 男女別の比率については、男性が84.8%を占めている。
- 罪種別については、窃盗犯が最も多く、次いで粗暴犯等の順となっている。
- 学職別では、高校生と中学生が同数で、次いで有職少年が多い。

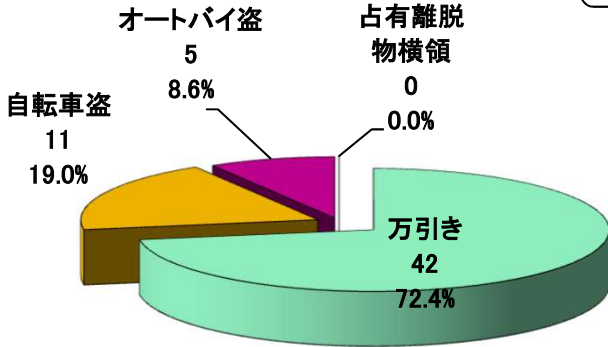
県内における少年非行の概要(令和5年中)

※ 初発型非行とは、非行の手口や動機が比較的単純で、初期段階の非行といわれる「万引き」「オートバイ盗」「自転車盗」「占有離脱物横領」の4罪種をいいます。

初発型非行：令和4年中

総数 58人

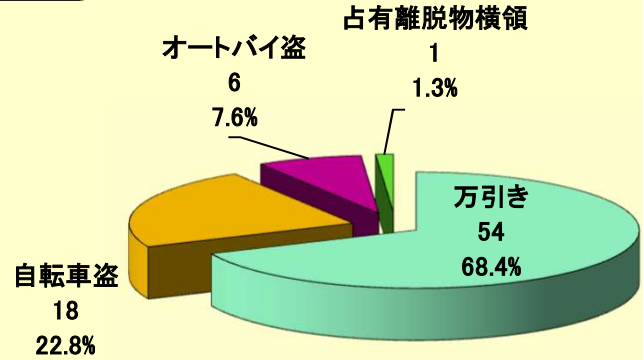
罪種別



※全体の72.4%が万引き

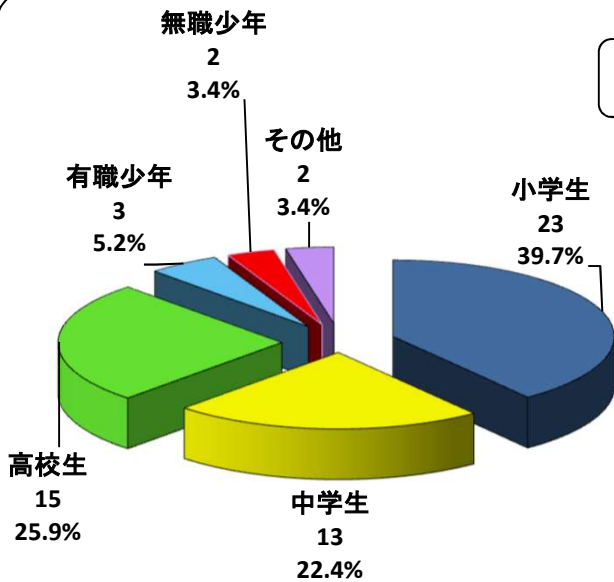
初発型非行：令和5年中

総数 79人

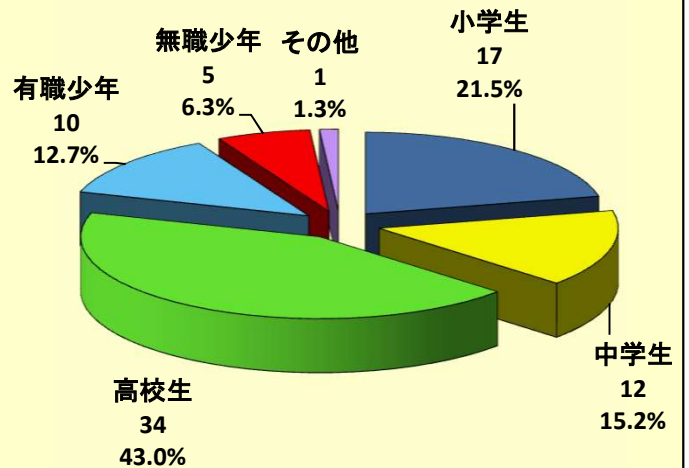


※全体の68.4%が万引き

学職別



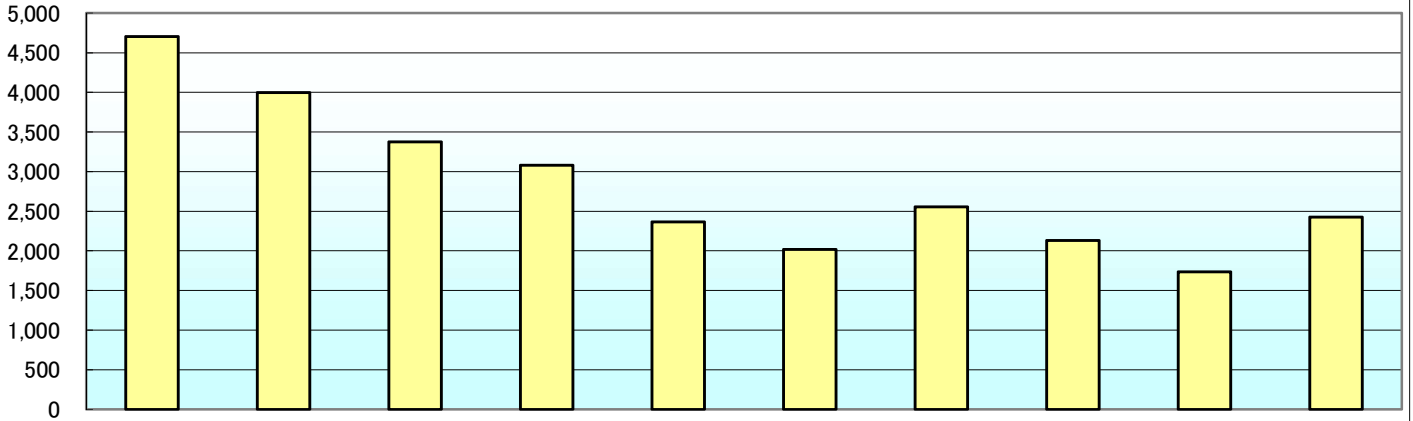
※小学生、高校生の順に多い



※高校生、小学生の順に多い

県内における少年非行の概要(令和5年中)

補導人員年別推移



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
補導人員	4,704	3,998	3,376	3,081	2,365	2,018	2,557	2,129	1,734	2,424

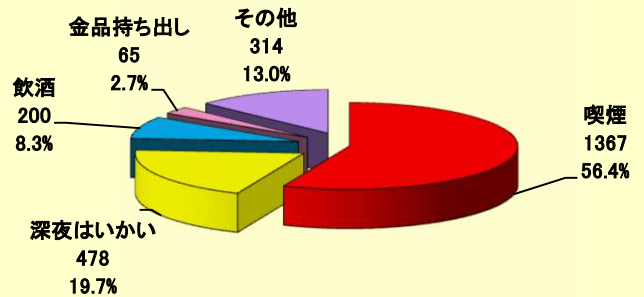
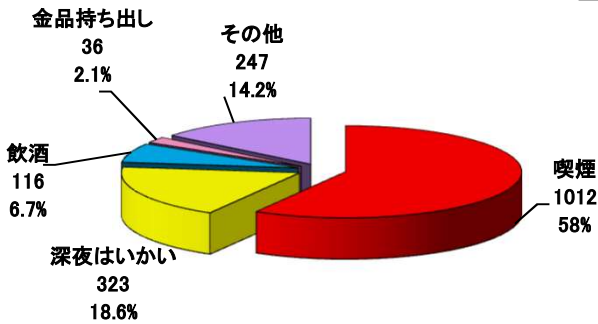
補導人員：令和4年中

総数 1,734人

行為別

補導人員：令和5年中

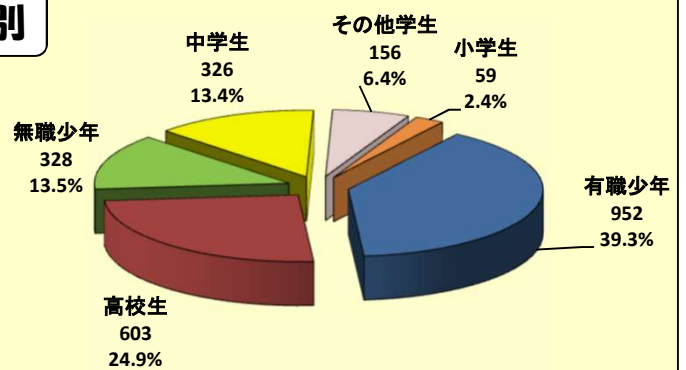
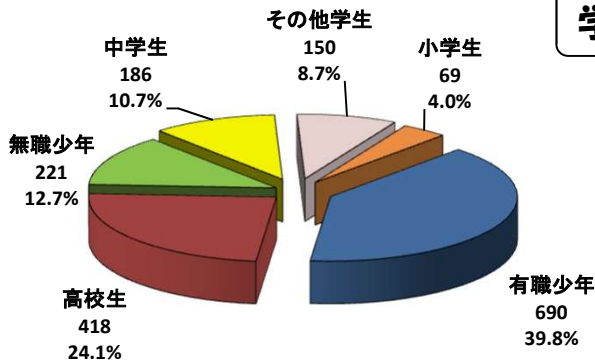
総数 2,424人



※ 喫煙と深夜はいかいで76.6%を占める。

※ 喫煙と深夜はいかいで76.1%を占める。

学職別



※ 有職少年が全体の39.8%を占める。

※ 有職少年が全体の39.3%を占める。